

# こだま

(HP版)  
発行・自治労連千葉県本部現業評議会  
千葉県中央区長洲1-10-8 自治体福祉センター内  
TEL 043-227-9393  
URL http://www.jichiroenchiba.jp/  
責任者・椎名 幸一 編集長・青木 浩二

## 安房地域のごみ処理のあり方を考えるシンポジウム

広域化で自治体のごみ処理はどうなる？ 地域と時代にあったごみ処理とは？



### ごみ処理は住民との

# 情報共有と話し合いで

自治労連千葉県本部は、6月10日、南房総市とみうら元気倶楽部さざなみホールで、住民団体と共同で「安房地域のごみ処理のあり方を考えるシンポジウム」を開きました。

#### 発言要旨

#### 講演 「ごみ処理施設の基礎」

講師 坂本博之 弁護士



坂本博之 弁護士  
たたかう住民とともにゴミ問題の解決をめざす弁護士連絡会事務局長

**ごみ焼却で生まれる有害物**

現代のごみには様々な物質が入り混じって

いるので、焼却するとたくさんは化合物が合成されています。有害物の宝庫といえるのです。

**ダイオキシン類**

ダイオキシン類は発がん性や催奇性などの毒性を持つ化学物質で、90年代に社会問題化した。しかし、ダイオキシン濃度の測定は年に1回のみ、安定燃焼時の低い値の提出で済むといういい加減なものです。

**不信を招くごみ処理広域化**

一般廃棄物については自治体に処理責任がありますが、いくつかの自治体が集まり広域市町村圏事務組合という特別地方公共団体で共同処理する場合があります。議会、条例などをもち制度上は自治

**住民無視の姿勢が問題**

ごみ処理場建設反対運動の中で、ある首長が「市民にあらかじめ計画を話したら、またまるものまらまらなくなってしまう」と言っ

## 各自治体のごみ処理方針

「ごみ処理に関する質問書」(2017年5月)への各自治体の回答(要約)

質問項目	南房総 ・鋸南・鴨川	館山
既存炉の活用	既存施設の老朽化による寿命延長の可能性がある。	定期修繕、大規模改修工事により既存施設を最大限活用し長期稼働させていく。
広域方針を引き継ぐか	平成8年度より広域ごみ処理施設整備事業に参加しており、今後も継続する予定。計画を引き継ぐ。	広域からは離脱
今後の広域スケジュール	現時点で見通しは立たないが、過去の経緯から過去1年、用地買収に2年、調査業務に3年。	広域からは離脱

【自治労連千葉県本部とは】県庁や市や町などの自治体職員労働組合の千葉県段階の連合体です。「住民の幸福なくして自治体職員の幸福はない」を合言葉に活動しています。



また、ダイオキシンを除去するというバグフィルターは「網目」であり、すり抜けや目詰まりもある不完全なもので、そもそも気体は通り抜けてしまします。

たのびますが、そもそも行政側に住民合意を得ようという姿勢がないことが問題です。

大規模化・広域化は循環型社会に逆行

国はごみ処理施設の大規模化・広域化を方針としており、理由を①ダイオキシン対策、②焼却カスの高度処理、③マテリアルサイクル④サーマルリサイクル⑤最終処分場の延命、⑥コスト削減としています。そして循環型社会形成交付金という補助金制度を設けて、自治体を誘導しています。

しかし、大規模化・広域化は、結果的に多量の有害物を生成させてしまうこと、連続運転はごみ不足を招きプラスチックの焼却や産業廃棄物の受け入れを招くこと、ゴミを燃焼させてしまうことはリサイクルではないこと、金属を取り出すために重油やコークスといった燃料を消費することなどの点で循環型社会に逆行します。

地方は大企業の草刈り場に

ごみ処理計画を住民が作った

廃棄物問題は、環境問題であると同時に民主主義の問題です。

# 情報隠したために計画頓挫

## 報告③ 広域市町村圏事務組合の問題点

### 住民監査請求を通して見えたもの

神田さん 元館山市議会議員



神田さん

南房総市大費での広域ごみ処理施設の建設計画は、入会地問題で頓挫し、入会地問題で頓挫し、それまで事業につき込んだお金は無駄になってしまいました。事実確認と責任の所在を明らかにするために、去年5月に住民5人で住民監査請求を行いました。

### 入会地の売買には全員の合意が必要

入会地とは、入会権のある山林原野の土地のことです。入会権とは、特定の山林原野から新などを採取する村などが有する権利のことです。入会地には個人の財産分として売り買いできる「持分」はなく、財産処分には入会団体構成員全員の同意が必要です。

今回の候補地の登記簿を見ると、人数で登記がされており、入会地であることは容易に想像できます。にもかかわらず広域では「入会地でも売買できる」と判断して計画を進め、2億円のお金をドブに捨ててしまいました。

### 情報をオープンに

結局、今回のことは情報を隠して計画を進めたせいでダメになったということ。情報をオープンにし、みんな考えて納得して進めることが事業を立派にする基礎なのです。

### 現場の努力が財政負担を抑制

館山市出野尾(いでの)のごみ処理場は、完成から33年が経過しています。当初「15年持てば御の字」と言われた施設がなぜ30年を超える期間でも操業が可能となったのでしょうか。まず適切な管理と丁寧な運転で操業してきて現場の力ということではないでしょうか。

●坂本弁護士の話を広域の関係者もぜひ参考にしてほしいと痛切に思う。●広域組合はなんでこんなにブラックなのか? 住民が声をあげないからなのか。●広域ではなく各自自治体で責任を持つ施設で処理することはできないのでしょうか? ●住民と一緒に考えようという職員が自治体にいることに驚いた。●各市・町の職組の方々に参加して真剣に今後取り組ん

### 参加者の感想・意見

でいくのかと思いましたが、いかに関心が薄いのかを垣間見た。●都会から自然が良いと思ってきた人が真剣に考えていることがうれしい。何も言わない住民の雰囲気を変えていくにはどうしたらよいか。●行政の流れをにらみながら、並行して議論して提言ができるといいですね。●福祉収集などの先進事例を学びたい。ごみを分けて排出を抑えることが大切。

## 報告② 安房地域のごみの現状と未来像

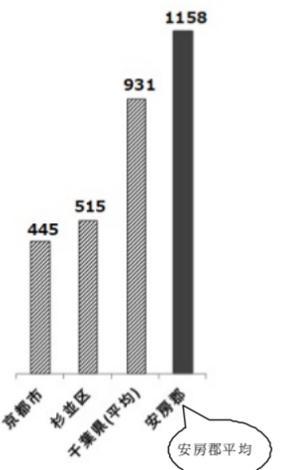
今西さん (環境ネットワーク安房)



今西さん

3市1町の広域ごみ処理を考えると、計画頓挫をスタートし、計画頓挫を経て環境を広く考えるために環境ネットワーク安房として活動しています。私も当初は関心が薄かったのですが調べていくうちに疑問が湧き、広域事務組合に面談したいと申し込んだら「市民には個別には対応しない」と回答さ

1日1人当たりのごみ排出量



れ、「行政が市民の問い合わせを拒否するってあるの?」と驚きました。県内ランキングで一人当たりのごみ排出量が多く、それだけゴミ減量の余地が大きいのに大規模施設を計画していること、農業用水にも使われる瀬戸川流域で貴重な自然が残る地域であること、計画の進め方が不透明であることについて疑問を持っていきます。

### 地域の将来を

考えている人がいない 活動を通じて感じたのは、「この地域の環境の未来を考えている人がいない」ということです。市長は今の財

# ごみ減量をすすめるよう

## 報告④ 現業労働者は環境労働者

黒川さん 安房郡市現業労働組合連絡協議会



黒川さん

安房各地の自治体の清掃センターなどの現場で働く清掃労働者の立場から報告します。

### 枠組みが整えば広域計画再始動か

毎年2回、各自自治体や安房広域市町村圏事務組合と懇談してきました。今年5月15・17日に行いました。

### 環境・福祉面で地域に貢献できる

私たちは、①ごみ処理は市民生活の基幹業務であり、既存炉の活用などで各自自治体が責任をもってごみを処理すべき、②早急に徹底したごみ減量にとりくむべきで、現業労働者は環境労働者としてごみ減量に貢献できる、③現業労働者は高齢化した社会で見守り活動も兼ねる個別収集「福祉収集」を実施でき



## ゼロ・ウェイストとは

全国でゼロ・ウェイストを目指す自治体広がる

★ゼロ・ウェイストとは、ごみゼロ(出てきた廃棄物をどう処理するか)ではなく、そもそもごみを出さないという考え方です。

「焼却・埋め立て・何でもリサイクル」がもたらしたものは、資源の無駄遣いと有害物質による健康被害と水質汚染など環境への悪影響でした。ゼロ・ウェイストは、そんな社会の仕組み自体を変えていこうとするものです。

(上勝ゼロウェイストアカデミー-くるくるwebより)

★徳島県上勝町が自治体として全国初のゼロ・ウェイスト宣言を行い、福岡県大木町、熊本県水俣市、東京都町田市、神奈川県葉山町などでとりくみが進められています。

源で何をしようかとか考えていない。職員たちは真面目にやっています。悪いこと考えているわけではないけれど、将来のことは考えていない。本来、地域の将来の在り方を考えたなかでごみ処理の方針がでてくるはず。問題を共有し、広くこの安房で議論をした。「じゃましないでくれ」と電話がかかってくることもあるのですが、ごみ処理についてみんなで考えるために

にお手伝いをしていくつもりです。

リサイクルでごみを劇的に減らせるはず

ごみを燃やさずに資源化することを目指しています。可燃ごみのうち70%を占める紙・布類、木・竹類、生ごみは、リサイクルや堆肥化することで減らすことができます。生ごみは「キエロー」というとても簡単な装置で堆肥化することができます。